

## 第 115 回 埼玉県内企業経営動向調査－2021 年 4～6 月期－

調査対象：県内企業 537 社      調査方法（期間）：アンケート方式（4 月 19 日～5 月 21 日）  
 回答企業：181 社（回答率 33.7 %） 業種別内訳：製造業 105 社 非製造業 76 社  
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2021 年 2 月 24 日	105.50	29,671.70
(今回) 2021 年 5 月 21 日	108.86	28,317.83

### 概況

埼玉県内企業の業況感（全産業）は、改善している。

今回調査（2021 年 4～6 月期）の業況判断 BSI は－19 と、前回 1～3 月期調査（－31）比マイナス幅が 12 ポイント縮小している。

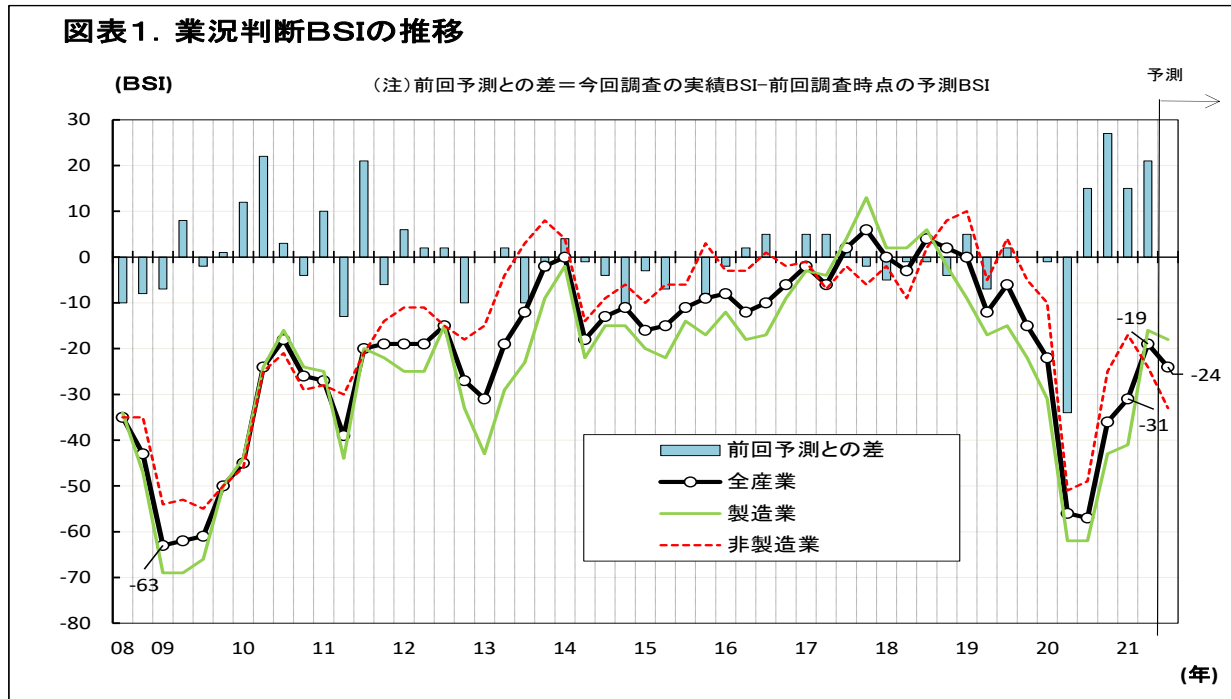
業種別にみると、製造業で改善の動きが強まっている一方、非製造業では改善が足踏みしており、業況感の明暗が分かれている（製造業：前回－41 → 今回－16、非製造業：前回－17 → 今回－24）。

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型の多くの業種で、海外経済の回復に加え堅調な巣ごもり需要やデジタル関連需要増などを背景に大きく改善している。一方、非製造業では、不動産や運輸・倉庫（宅配・通販関連）の一部で改善しているものの、一般建設、住宅建設、卸・小売、その他非製造業（飲食・娯楽サービス）では停滞が続いている。

先行き（2021 年 7～9 月期）については、－24 とマイナス幅が拡大する見通し。

製造業、非製造業とも、依然として先行きの業況回復には慎重な見方をする先が多い。（製造業：今回－16 → 先行き－18、非製造業：今回－24 → 先行き－33）

図表 1. 業況判断 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」)

埼玉県内企業の業況感 (全産業) は、改善している。

今回調査 (2021 年 4~6 月期) の業況判断 BSI は -19 と、前回 1~3 月期調査 (-31) 比マイナス幅が 12 ポイント縮小している。

業種別にみると、製造業で改善の動きが強まっている一方、非製造業では改善が足踏みしており、業況感の明暗が分かれている (製造業: 前回 -41 → 今回 -16、非製造業: 前回 -17 → 今回 -24)。

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型の多くの業種で、海外経済の回復に加え堅調な巣ごもり需要やデジタル関連需要増などを背景に大きく改善している。一方、非製造業では、不動産や運輸・倉庫 (宅配・通販関連) の一部で改善しているものの、一般建設、住宅建設、卸・小売、その他非製造業 (飲食・娯楽サービス) では停滞が続いている。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2019年 10~12月	2020年				2021年			
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		7~9月 (先行き)
							前回予測	今回	
全産業	-15	-22	-56	-57	-36	-31	-40	-19	-24
規模の小さい企業(100人未満)	-17	-25	-52	-50	-41	-34	-47	-28	-26
規模の大きい企業(100人以上)	-12	-18	-61	-64	-30	-27	-33	-10	-23
製造業	-22	-31	-62	-62	-43	-41	-48	-16	-18
規模の小さい企業(100人未満)	-25	-36	-58	-59	-46	-47	-58	-26	-23
規模の大きい企業(100人以上)	-18	-26	-67	-67	-40	-35	-35	-4	-13
素材型	-13	-33	-63	-61	-40	-42	-46	-14	-16
紙加工品等	18	-36	-60	-80	-36	-55	-27	0	0
化学・プラスチック・ゴム製品	27	0	-38	-17	-8	-33	-42	43	14
鉄鋼・非鉄金属	-33	-44	-83	-80	-78	-40	-20	-30	-10
金属製品	-50	-50	-100	-86	-67	-43	-57	-29	-14
その他素材型	-38	-27	-44	-60	-30	-40	-90	-40	-60
加工組立型	-36	-48	-68	-71	-49	-38	-48	-22	-20
一般機械器具	-9	-40	-100	-75	-64	-60	-60	-8	-25
電気・情報通信機械器具	-10	-30	-44	-55	-62	-60	-60	-42	-8
電子部品・デバイス	-90	-70	-71	-60	-11	11	-22	9	0
輸送機械	-44	-67	-86	-100	-75	-75	-50	-57	-43
精密機械	-20	-20	-20	-60	-17	20	-40	-25	-50
生活関連型	0	25	-50	-38	-43	-58	-50	-17	-25
飲・食料品	13	50	-17	0	-14	-43	-29	0	13
印刷・同関連業	-17	0	-100	-71	-71	-80	-80	-50	-100
その他製造業	-67	0	0	-50	-25	-20	-60	33	0
非製造業	-5	-10	-51	-49	-25	-17	-30	-24	-33
規模の小さい企業(100人未満)	-5	-11	-45	-38	-31	-16	-30	-30	-30
規模の大きい企業(100人以上)	-5	-9	-56	-61	-18	-19	-30	-18	-36
一般建設	10	5	-29	-21	0	6	6	-14	-7
住宅建設	20	-40	-20	-33	0	-25	0	-25	-50
卸 売	22	-7	-62	-57	-46	-29	-29	-25	-42
小 売	-5	-26	-42	-63	0	-5	-47	-42	-37
運輸・倉庫	-17	0	-45	-73	-63	-45	-36	-38	-50
不動産	-29	-33	-60	-33	-43	0	-57	20	-20
その他非製造業	-29	0	-81	-53	-33	-33	-40	-14	-36

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で「減少」超幅が縮小、非製造業では「減少」超幅が小幅拡大～

製造業では、素材型で「減少」超幅が縮小したほか、生活関連型で「増加」超に転じたことから「減少」超幅が縮小している。非製造業では、住宅建設で「増加」超に転じた一方、卸売、小売で「減少」幅が拡大したことから、「減少」超幅が小幅拡大している。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	1	-19	-11	-8
製造業	4	-21	-8	2
非製造業	-3	-15	-16	-22
規模の小さい企業	-9	-23	-17	-5
規模の大きい企業	13	-14	-5	-11

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業、非製造業とも「減少」超幅が縮小～

製造業では、素材型で「減少」超幅が縮小したほか、生活関連型で「増加」超に転じたことから、「減少」超幅が縮小している。非製造業でも、住宅建設で「増加」超に転じたほか、卸売、運輸・倉庫で「減少」超幅が縮小したことから、「減少」超幅が縮小している。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-2	-23	-11	-12
製造業	2	-27	-9	-2
非製造業	-7	-19	-13	-26
規模の小さい企業	-11	-24	-17	-13
規模の大きい企業	10	-23	-4	-11

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で「増加」超に転化、非製造業では「減少」超幅が縮小～

製造業では、加工組立型で「増加」超となったことから、2 四半期ぶりに「増加」超に転じている。非製造業では、「減少」超幅が縮小している。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-1	-10	2	2
製造業	1	-10	6	5
非製造業	-5	-10	-7	-5
規模の小さい企業	1	-16	-1	-4
規模の大きい企業	-4	-3	5	8

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～全産業で過剰感が弱まっている～

全産業では、4 四半期連続で過剰感が弱まっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	6	3	2	2
製造業	12	8	4	4
非製造業	-3	-4	-1	-1
規模の小さい企業	8	4	2	-1
規模の大きい企業	4	2	1	5

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で「不足」超幅が拡大、非製造業では「不足」超幅が縮小～

製造業では、生活関連型の過剰感の弱まりに加え、加工組立型で「不足」超に転じたことから、「不足」超幅が拡大している。一方、非製造業では、一般建設、卸売、小売の不足感の弱まりから、「不足」超幅が縮小している。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-9	-12	-14	-14
製造業	11	-1	-8	-7
非製造業	-38	-26	-21	-25
規模の小さい企業	-10	-18	-14	-18
規模の大きい企業	-7	-6	-13	-10

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～全産業で「楽である」超幅は小幅拡大～

全産業で、「楽である」超幅が小幅拡大。非製造業で「楽である」超幅が小幅縮小している一方、製造業では「楽である」超幅が拡大している。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 20年10～12月期	(前回調査) 21年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	5	6	7	3
製造業	7	6	12	6
非製造業	1	6	1	-1
規模の小さい企業	-1	5	2	-3
規模の大きい企業	12	7	13	10

以上